

地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこの「コーナー」。今回は竹内庸公さんが取り組んだ「探究学習実験事業・しんみキッズキャンプ」について紹介します。

○ 探究学習を深める キャンプを実施

竹内さんの職場となっている一般財団法人こゆ地域づくり推進機構（略称・こゆ財団）は、町内外の学校からの要請を受け、児童や生徒に対する探究学習の指導や助言を行っています。

探究学習とは、先生から一方的に教えられる授業ではなく、自ら探して発見し、答えを出していくこうという教育手法で、近年、子どもたちの課題解決力や学習意欲を高めるために、学校教育の広い教科で活用が求められています。

こゆ地域づくり推進機構では、学校教育のみならず、社会教育の分野でも探究学習の手法を応用して地域素材の活用に結びつけられないかと考え、そのフィールドとして富田浜公園を活用することに

しました。「しんみキッズキャンプ」は、11月14日（土）から15日（日）にかけて富田浜公園で開催し、ボート競技に取り組むジュニアアスリートクラブに所属する9名の小学生のみなさんにご協力いただきました。

キャンプといつてもただ楽しむということではなく、「社会」「家庭」「理科」「国語」といった教科に見立てた授業形式の単元を設定し、タブレット端末を取り入れ、各单元をリードしていくだけならば、講師の皆さんに授業を行っていただきました。



また、ICTとリアルの場を併用した授業の可能性を感じたことや、先生や保護者でない第三者の大人の関わりが大切など、これまでの「学び」の価値観や固定概念をどうえり直す良い機会となりました。なお、富田浜公園などフィールドを使った探究学習は、子どものみならず企業研修などにも応用できる可能性を感じさせます。

	内容	講師
社会	町歩きを通じて新たな発見	一般社団法人みつかる十かかる代表理事 市川力さん
家庭	調理実習	ガールスカウト宮崎県第2団のみなさん
理科①	五感で感じる地球と宇宙	科学コミュニケーター 谷明洋さん
理科②	富田浜清掃とウミガメ	宮崎野生動物研究会新富南班 岩切通さん
国語	自分の個性について考える	東京学芸大学大学院准教授小宮山利恵子さん